

10 ボランティア活動に参加する

● ボランティアが、自分で準備すべきことは？

被災直後は、現地も混乱しています。まずは、災害ボランティアセンターのホームページを確認するなど、事前に現地の支援ニーズを確認しましょう。そして、宿泊先の確保や服装、道具などを自分でしっかり準備してから被災地に入りましょう。活動中は、「自分のことは自分でやる。被災地には負担をかけない。」が基本です。

● ボランティアの装備



① 防災インフォメーション 寄付金も立派なボランティア

災害が発生すると、被災地ではたくさんのお金が必要になります。ですから、お金を寄付することは、被災地支援の大きな力となります。寄付金も、一つの「ボランティア」の形なのです。

寄付金は、被災者に手渡されるための「義援金」と、被災地で活動するボランティアやNPOなどの団体の資金となる「支援金」の2つに分けられます。ですから、寄付するときは、そのお金がどのように使われるのかを確認しましょう。それは、被災地のことを正しく知ることにもつながります。なお、個人からの義援物資の送付は、かえって被災地の負担になることがあります。地域によっては、義援物資の受入れをしていないところもありますので、まずは被災地地方公共団体のホームページなどを確認しましょう。

